

日本作業療法学会(全国学会)発表

2024年11月9日・10日に北海道札幌コンベンションセンターで開催された「第58回日本作業療法学会～作業療法の効果を最大化する知識・技術・環境を問う～」に参加しました。現地につくと、11月にもかかわらず、雪が積もっておりました。そんな気候の中、この度全国学会で初めてのポスター発表に挑戦しました。今回発表した内容は、地域での介護予防活動についてです。私自身、小松島病院に就職して、作業療法士として働く中で、認知症や軽度認知機能低下(MCI)をもつ方への支援に興味が高く、特に認知症予防、介護予防教室などの地域活動にも積極的に参加してきました。そんな中で、徳島県作業療法士会認知症支援推進委員会に所属し、『ラシーサカード』というレクリエーションツールを考案し、県内の市町村に普及を図る活動をしてきました。

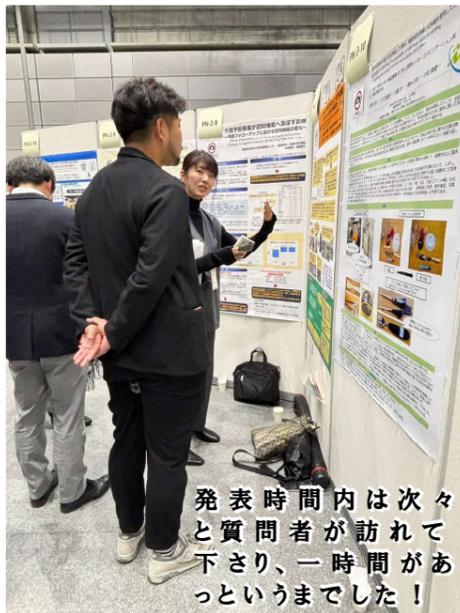
現在日本では高齢者の約3.6人に1人が認知症またはその予備群と言われており、認知症を予防することと同時に、認知症になっても自分らしく過ごせる社会が求められています。私たちの考案した『ラシーサカード』はそんな自分らしさに焦点を当てた介護予防ツールです。地域住民同士でそれぞれの自分らしさを語り合い、さらに地域住民同士の対人交流の促進に繋げることで新たな社会参加を生み出すことが期待できます。1人でも多くの地域の方々が、どんな状態になっても自分らしく最後まで暮らすために、何か少しでも力になれないか、とそんな強い思いで、チームで考案しました。

このツールを用いて地域で行った介護予防活動に関する内容を発表し、ポスター発表の質疑応答1時間の間、滞りなく質問者が来て下さり、県外の多くのセラピストに私たちの活動に興味、関心を持っていただけました。この経験を活かして、日頃の業務、さらに地域活動にもより一層知識や技術を磨いて、貢献していきたいと思いました。

この度、このような発表することに協力いただいた小松島病院のスタッフを始め、全ての方に本当に感謝しています。

そして、何より私自身2人の息子の母であり、子供たちを残して、北海道に行かせてくれた家族、本当にありがとうございました。

作業療法士 民 藍子



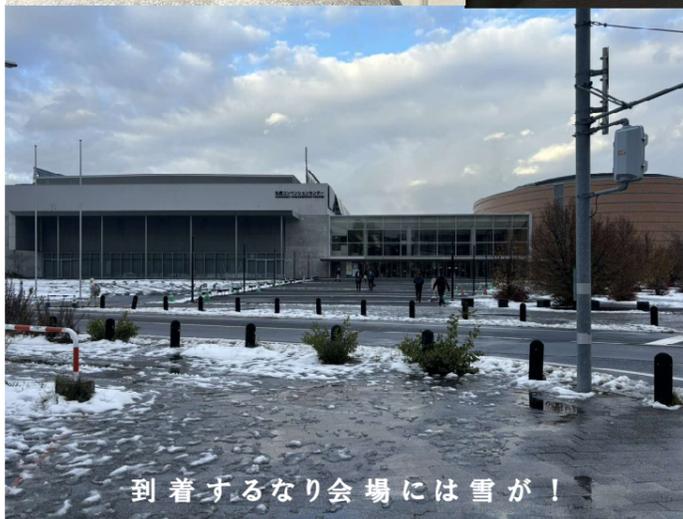
発表時間内は次々と質問者が訪れて下さり、一時間があっというまでした！



北海道みそラーメンおいしかったです～♪



初めての全国学会での発表でしたが、とてもいい経験となりました



到着するなり会場には雪が！



大神子病院スタッフと一緒にってきました！

グループホームだより

厳しい寒さが続きますがグループホームの利用者さんは毎日元気に過ごされています。



クリスマスは皆さんで歌を歌いました★



ケーキもいただきます



利用者さんとペタペタ制作☆



福が訪れますように☆彡

保育所だより

子ども達の元気な挨拶で、新しい年がスタートしました。お正月遊びでは、福笑いやコマ回し、おもちゃつき遊びなど初めての経験に目をキラキラ輝かせて大興奮の子ども達でした。まだまだ、寒い日が続きますが、元気いっぱい笑顔溢れる毎日を子ども達と送ってまいります。



サンタさんと一緒に「ハイ、ポーズ☆



節分の制作



鬼の角を作ったよ。



そーれ、べったんこ！



さくらんぼの音楽隊♪



初めての福笑いに挑戦！



野村 ハマエさん

通所リハビリご利用中

11月に100歳のお誕生日を迎えられみんなでお祝いしました。長生きの秘訣は・・・「人のことを言わない。自分のことを一生懸命する」との事でした。学ばせていただきたいお言葉ですね。これからもわたしたちに元気な姿を見せてくださいね。

